

持続可能性 報告書の概要 (2022年)

CEOの声明	02
人	03
地球	05
製品	07
電気自動車製造に携わる従事者への最先端の保護	09
バッテリー製造における複数の危険を伴う複雑な安全性の問題を解決	10
ガバナンス	11

この概要では、2022年の持続可能性報告書の重要な内容を紹介します。

報告書の完全版はこちらから入手できます

CEOの声明

「Ansellは、会社の歴史で初めて持続可能性を、ビジネス戦略に完全に統合された新しい目標、つまり人と地球の保護を第一に考えるという目標の基盤として宣言しました。」

Neil Salmon
社長兼会長



ECOVADIS銀メダル

持続可能性における優秀さを示す証印

2021営業年度の報告データに基づいて
ECOVADISから銀メダルを授与された
ANSELLは、

評価された全企業の上位
25%、同業界内の製造業者の
上位6%に

位置付けられました³

130年近くにわたって人と地球を保護してきたAnsellは、かつてないほどに野心的な目標を持っています。 弊社は、比類のない個人用保護具を提供し、業界をリードする安全性評価を実施し、データに基づいた専門知識を提供して、世界的規模で安全性を向上させています。しかし、弊社はこれにとどまらず、新分野を開拓しようという野心的な目標を設定しています。持続可能性は、弊社が開拓しようとする新分野の1つです。 Ansellは、会社の歴史で初めて持続可能性を、ビジネス戦略に完全に統合された新しい目標、つまり人と地球の保護を第一に考えるという目標の基盤として宣言しました。

Ansellは、地球温暖化を摂氏1.5度に制限するというパリ協定の目標に沿ってネットゼロを達成するために、スコープ1および2排出量の科学的根拠に基づいた削減目標に取り組んでいます。Ansellの長期的な脱炭素化戦略は、エンドツーエンドの価値連鎖を網羅しており、再生可能エネルギー源への移行、製品およびビジネスモデルの革新、合成原材料への依存度の軽減に着目しています。弊社は、スコープ3排出量の削減を含むネットゼロを達成するための科学的根拠に基づいた基準を満たしていると考えましたが、スコープ3排出量の削減を実現するためには業界全体の協力関係を構築せざるを得ないため、現段階ではネットゼロの達成に取り組んでいません。ネットゼロの達成には時間がかかりますが、弊社は2023営業年度に著しい進展が見られると期待しています。

弊社はまた、水原単位削減目標を新しい水管理戦略に変えました。弊社は、持続可能な包装材料計画の1年目に目標を達成し、5つの工場が埋立廃棄物ゼロ化の第三者認証を取得したことを誇りに思っていますが、温室効果ガス(GHG)排出量および取水原単位削減目標は達成できませんでした。革新的な技術の導入と商品化は必ずしも簡単ではありませんが、私は弊社のチームが前へ進む方法を見つけると確信しています。 弊社は、認められた科学的基準および方法論に基づいて、製品が寿命期間を通じて環境にどのような影響を及ぼす

かを理解するために熱心に取り組んできました。 弊社は、その過程で得られた知識を利用して、既存の取扱製品が環境に及ぼす影響を減らし、新製品を開発しており、多くの場合、パートナーやサプライヤーと緊密に協力しています。 その結果、2022営業年度に環境認証を取得した2つの新製品(初の堆肥化可能な手袋であるMICROFLEX® 31-103と、裏地の90%がリサイクルナイロンで作られた手袋であるHyFlex® 11-842)を発売したことを誇りに思っています。

Ansellの使命は、顧客と従業員の安全性の代名詞です。 全体的な安全戦略の結果として、2022営業年度の要治療事故率(MTI)は10年間で最も低い0.161です。 従業員にワクチン接種を奨励している弊社は、COVID-19に対する安全性を引き続き優先事項としており、この優先事項をサポートするために、Ansellのすべての製造従業員がワクチンを入手できるようにしました。 その結果、Ansellの製造労働者の94%が2回のCOVID-19ワクチン接種を受け、56%がワクチンブースターの接種を受けました。

現代の奴隷制と無力な労働者の搾取を根絶するために全力を尽くし続けている弊社の持続可能性報告書では、この目的を達成するための過程で遂げた重要な進展の詳細を述べています。 過去数年間、弊社は国際的な第三者サプライチェーン内での強制労働を特定、抑制、防止するための数多くの対策を講じてきました。

弊社は、Ansellのサプライチェーンとマレーシアの手袋業界全体における強制労働の問題に積極的に取り組んでいますが、残念ながら、強制労働は非常に複雑な問題であると認識しています。 Ansellのサプライヤーの1つで働いた元従業員による憂慮すべき申し立ては、弊社が目標としている業界全体の実質的な変化を遂げることの重要性を浮き彫りにしています。

業界全体に有意義な変化を遂げるためには、国際社会、業界パートナー、政府、非政府組織間の協力体制が必要であることを知っている弊

「過去数年間、弊社は国際的な第三者サプライチェーン内での強制労働を特定、抑制、防止するための数多くの対策を講じてきました。」

社は、このような協力体制に加わるために尽力しています。 だからこそ、Ansellは責任ある手袋同盟(RGA)の創設メンバーであることを誇りに思っています。RGAは、マレーシアの手袋業界における労働者の権利の変革を推進することを目的としている業界間協力体制です。

私は、従業員の安全とすべての人権の尊重に向けた努力を続けているAnsellの献身を共有していただいた大切な顧客とパートナーに感謝の意を表します。125年以上にわたって人々を保護してきたAnsellは、かつてないほどに野心的な目標を持っています。

この1年間Ansellの世界を旅してきた私は、持続可能性という複雑な分野に関する専門知識を迅速に習得した弊社のチームメンバーに常に感銘を受けています。弊社は、より持続可能な未来に向けてビジネスと技術をどのように進化させる必要があるかという根本的な問題をじっくりと考え、その過程を支援できる専門家を招くことで、成功を収めました。 弊社は、環境面の利点が実証された真の変化を遂げるために尽力しています。 例えば、弊社は、スコープ1および2のネットゼロを達成するために単なる相殺に留まらず、複雑な方法で実際の排出量を減らしています。 弊社はまた、疑わしい生分解性を謳う製品を発売しないことを決定しました。 なぜなら、実際の条件での分析によると、このような製品は環境に優しいどころか、有害になりえる可能性が否めないのです。 代わりに、弊社の目標と主張を、SBTi企業ネットゼロ基準、EN 13432、ISO 14040、ISO 14044などの主要な国際基準に合致させるために努力しています。弊社は、比較的短期間で素晴らしい成果を達成しました。

Neil Salmon
社長兼会長



国連のSDGへの
貢献



労働者の権利

Ansellは、世界人権宣言、ビジネスと人権に関する国連指針、および国際労働機関（ILO）中核条約に従って、社内業務および第三者サプライチェーンにおける労働者の権利を保護するために尽力しています。

社内業務

Ansell工場の第三者監査は、労働、健康および安全、環境、ビジネス倫理をカバーし、倫理的取引イニシアチブ（ETI）の基礎条例と強制労働のILO指標に基づいているSedexメンバー倫理的取引監査（SMETA）の4つの柱の監査フレームワークに従って実施されます。2022営業年度には、7つの工場が第三者のSMETA監査を受け、不適合と報告された事案（NC）の87%が解決されました¹。弊社は、2023営業年度から一部のAnsell工場に対して、抜き打ちのSMETA監査と第三者の強制労働評価（F-11監査）を開始する予定です。F-11監査では、強制労働のリスク（または実際の事例）を特定することに特に焦点を合わせて、強制労働のILO指標に照らして評価を行います。F-11監査により、SMETA監査の完成度を高め、人権への潜在的な悪影響を特定する能力が高まります。

弊社は、信頼、尊敬、率直な対話に基づいた文化を維持し、前向きで透明な労使関係を促進します。Ansellは、採用手数料ゼロ化ポリシーを取っており、採用手数料の修正を早期に（2019年に）導入した企業の1つです。業界をリードする慣行に引き続き従うために、弊社は今年、独立系コンサルタントのELEVATEと契約を結び、弊社の採用手数料修正プログラムを再検討しました。再検討により、初期の手法が当時のベストプラクティスであったものの、現在では一部の移民労働者に対して支払われた金額が報告された平均より低いと見なされていることが明らかになりました。調査結果を受け、弊社は、現在のベストプラクティスに基づいて、影響を受けた労働者に追加の金額を支払いました。弊社は、従業員が善意に基づいて懸案事項を報告することで不利な結果が生じないと安心できる「報復禁止」ポリシーを取っています。弊社は、更新されたグローバル苦情処理ポリシーの一環として、責任ある手袋同盟を通じて運営される新しい苦情処理直通電話であるスアラカミホットラインの導入を開始しました。

マレーシアの医療製品および医療用手袋業界が抱える労働者の権利に関連する問題は、制度面での問題であるため、1つの企業が単独で解決できるものではありません。そのため、2022年3月にAnsellを含む7つの創設メンバーによって責任ある手袋同盟（RGA）が発足し、弊社は責任あるビジネス同盟の支援を受けています。RGAは、ビジネスと人権に関する国連指針に沿った高度な基準、ツール、プログラムを使用して、採用の変革、集団的影響力、およびデューデリジェンスの適用を可能にします。

第三者サプライチェーン

第三者サプライチェーンに有意義な変化をもたらすために、Ansellのサプライヤー管理フレームワーク（SMF）が確立されました。Ansellは、合意した期間内に合意した要件に従ってNCを監視および解決するためにサプライヤーと協力しています。2022営業年度には、56件の監査が完了し、弊社の完成品製造に係る支出コストの90%以上を占めるサプライヤーが対象となりました。弊社は、2022営業年度に行われたサプライヤー監査で特定されたNCの数が減少したことを報告いたします。弊社は、監査はあくまで一定時点のスナップショットであることを認識しています。従って、弊社はサプライヤーの関与、トレーニング、その他の活動を通じて、サプライヤーの業績を監視および管理します。

Ansellは、指針19に関する国連の解釈、およびILOとマレーシアゴム協会が最近に発表した共同刊行物²に従って、強制労働の申し立てがあったとしてもサプライヤーとの契約を自動的に解除することはありません。代わりに、実態を伴う行動を通じて労働条件を改善することに対するコミットメントを示すことをサプライヤーに促します。しかし、労働条件を改善し、労働基準の順守に前向きな変化をもたらすために誠実に努力していないサプライヤーを特定した場合は、仕入先を変えたり、サプライヤーとの関係を打ち切るなど、可能な選択肢を検討します。

労働者の権利への悪影響の申し立てが最も多いマレーシアの手袋業界では、高負荷労働と未熟練の移民労働者への依存がリスクを高めています。マレーシアの手袋業界は、無力な移民労働者に対する最も顕著なリスクに対処するために努力して進展を遂げています。Ansellは、SMETA監査、サプライヤーとのトップミーティング、サプライヤーの自己宣言を通じて、2022年9月15日の時点で、Ansellの完成品への支出コスト総額の約94%を占めるマレーシアのサプライヤーが、現在雇用されている移民労働者を対象とする採用手数料返済プログラムの完了を宣言したことを確認しました（在マレーシアの1万6千人以上の移民労働者に総額2500万米ドル以上を返済済）。

サプライヤー間で改善および是正措置が実施されていますが、弊社は警戒を怠らず、業界の継続的かつ体系的な変化をサポートし続けています。2023営業年度の監査プログラムには、事前告知および抜き打ちのSMETA監査とF-11監査が含まれます。場合によっては、労働者の権利をより適切に保護するための分野に焦点を合わせます。

「弊社は、信頼、尊敬、率直な対話に基づいた文化を維持し、前向きで透明な労使関係を促進します。」

1. 2022年8月31日現在の割合。不適合と報告された工場を閉鎖するための追加監査は通常最初の監査から3〜6か月後に行われるため、ステータスが「オープン」である残りのNCは主に締め切り日の報告に起因するものです。
2. ILOとマレーシアゴム協会の共同刊行物「マレーシアのゴム業界における強制労働への対処、防止、撲滅：マレーシアの雇用主向けの実用ガイド（2022年）。

主要業績

10年間で最低の
MTI*:0.161

* 要治療事故率

前年比でLTI*が
0.051に減少

* 休業度数率

94%

製造従業員が2回のCOVID-19ワクチン接種を受け、56%がワクチンブースターを接種

36.6% 管理職の女性

42.9% 非業務執行取締役の女性

34.6% 経営幹部の女性

200以上の

措置を取って従業員関与と調査からの改善を促進

従業員の健康と安全

Ansellの使命である「Ansell Protects (Ansellが提供する保護)」は、顧客と従業員の安全性の代名詞です。

弊社の安全戦略は、次の3つの中核的な要素で構成されています。

特定、報告、排除または管理、コミュニケーションにおける**透明性**。

安全性に対する意識をAnsell全体に浸透させる**説明責任**

職員がリスクの高い仕事を安全に完了できるようにする基礎能力に焦点を合わせた**学習と関与**

安全性を高めるために努力してきた結果、今年にAnsellは10年間で最も低い要治療事故率(MTI)を記録し、休業度数率(LTI)を0.051に改善しました。幸いなことに、世界中のチームは、ニアミス、危険な状態、危険な行為を軽減するための10,511件の改善アイデアを提供して、新しいトレンドを生み出し、去年の提供数をほぼ50%上回りました。

近年、新しい変異ウイルスの出現により、COVID-19の感染性は高まりました。弊社は、スクリーニング、マスクの着用、公衆衛生対策、および工場全体での社会的距離の維持を継続的に実施しました。弊社はまた、世界中の製造従業員がワクチンを手に入れるようにすることも優先しました。



エンゲージメント

55か国以上に1万4千人以上の従業員を擁しているAnsellで働いている社員は、弊社の仕事に対する情熱と成功への多大な献身を共有するグローバルで多様なチームの一員です。

Ansellのビジョンは、有能な求職者が一番に入社を希望する会社、そして従業員が最大限の可能性を發揮しながら学び、成長し、勤務する会社になることです。これを達成するために、弊社は、職場文化を発展させる上で、リーダーシップに焦点を合わせ、学習および能力開発の機会をますます増やしてきました。

弊社は、半年ごとに従業員の愛着心(エンゲージメント)を17の側面から評価します。2021営業年度の従業員スコアは70%で、すべての側面で改善が見られました。特に、安全性、ブランド、顧客重視が顕著に向上しました。

2022営業年度に、職務、事業単位、個々のチームはこれらの分野の改善を推進するための200以上の対策を取りました。対策は、魅力的なリーダーシップ、機敏性、才能の重視、報酬と表彰、自己啓発/自主性、インフラストラクチャの提供、COVID-19に対する安全性、仕事と生活のバランス、福利など、多くの分野を対象としています。Ansell全体で一貫して施行された対策により、2025営業年度のクラス最高の目標にさらに近づくことができます。



多様性と受容性

性別の多様性に専念していた弊社は、多様性に対する視野を広げて、受容性と受容的な文化の定着への関心を高めました。従業員主導の地域ネットワークであるDE+グループによって、目標と重点分野が設定されます。

弊社は、総合的な受容性Eラーニングモジュールを導入しました。最初のコースである「暗黙の偏見の克服」は、2022営業年度に開始されました。経営陣は、受容性とアライシップ(社会的に阻害された人々を支援する)に焦点を合わせたセッションにも参加しました。このセッションは、2023営業年度に全従業員を対象に行う予定です。

2022営業年度に、DE+に関連するコミュニケーション、活動、意識向上は大幅に増加しました。6月1日、プライド月間、黒人歴史月間、国家ヒスパニック遺産月間、LGBTQIA+、世界自閉症啓発デー、特別オリンピックスのボランティア活動、RealTalkフォーラム、ニュースレター、DE+調査は、2022営業年度のハイライトでした。

2022営業年度に弊社は、才能のある女性が成功できる分野とその理由、そして仕事や生活の他の分野で有意義な体験を再現する方法を理解できるようにするために、第三者と協力して6週間の「自分らしく働くには」プログラムを試験的に実施しました。

より幅広い多様性と受容性を重視することに移行したAnsellは、あらゆるレベルで女性の地位向上に対する責任を見失っていません。弊社は、多様性に対する障壁を取り除くという方針を継続して、組織全体で適切な性別の多様性をさらに奨励するつもりです。



コミュニティ

災害が発生した場合、Ansellは、現場にいる人々がさまざまな緊急事態に対処できるように支援するために、寄付金と安全保護を提供します。

弊社が提供する主要な寄付金と安全保護は次のとおりです。

ウクライナへの寄付と従業員ボランティア

Ansellは、2022営業年度にウクライナ難民に対する人道的活動を支援するために、最も重要な製品を寄付しました。Ansellが寄付した製品は、産院施設、腫瘍治療、地域医療を提供する7つの病院があるカリタスに到着しました。弊社のクラブ拠点で働く従業員も、ポーランドに到着したウクライナ難民をボランティア支援しました。

スリランカの従業員と地域への働き掛け

弊社は現在、スリランカで働いている5500人以上の従業員の安全と福利を優先しています。Ansellは、スリランカの従業員とその家族が食料や医薬品などの必需品を購入できるよう支援しています。

Operation Smile

2022営業年度に弊社は、世界最大のボランティア組織の1つであるOperation Smileが口唇裂、口蓋裂、その他の顔面変形を持って生まれた子供たちに無料で安全な手術を提供するのを支援するために、検査手袋と手術用手袋を寄付しました。



地球

国連のSDGへの
貢献



気候変動対策を促進するための新しい目標

Ansellは2022年7月に、2040年までに自社の事業でネットゼロを実現するという野心的な脱炭素化戦略を発表しました。この長期的な削減目標を達成するために、地球温暖化を摂氏1.5度に制限するというパリ協定の目標に沿って、2030年度までにスコープ1および2排出量を2020営業年度の基準値より42%削減するという科学的根拠に基づいた中期目標を推進しています。弊社は、廃棄物排出量制限（10%未満）に対処するための信頼できる高品質の相殺への投資を検討する前に、自社の事業における脱炭素化を実現するという長期的な目標に焦点を合わせるつもりです。

再生可能エネルギーとエネルギー効率に関連する弊社の目標は、RE100とEP100のイニシアチブに沿って、2040年までに事業全体で100%再生可能電力を利用し、2025年までにエネルギー生産性を向上させ、エネルギー管理システム (ISO50001) を実装することです。

弊社の脱炭素化戦略には、主に3つの重点分野があります。

 化石燃料から再生可能エネルギーへの移行

 製造工程、製品、循環性の革新

 価値連鎖協力関係と政策による権利擁護を通じた協調



熱エネルギー生成の脱炭素化に対する要求に対処している最大規模の連合の1つである再生可能熱コラボティブにも加入。



Ansellは、大洋州からの最初の主要メンバーとしてCDPサプライチェーンプログラムに加入。

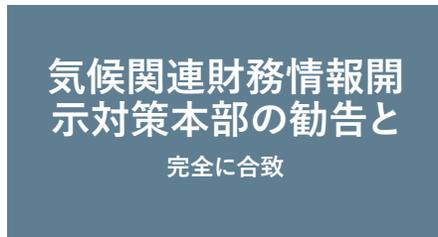
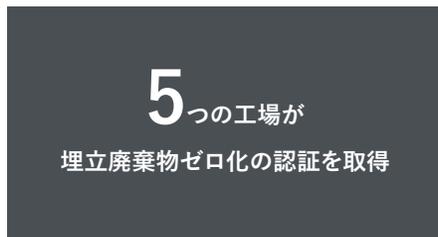
スコープ3排出量は弊社の総排出量の80%を占め、そのうちの80%は廃棄物処理と仕入品が占めています（2020営業年度の基準値）。これらのカテゴリの複雑さは、直接的な価値連鎖データとライフサイクル評価データの統合の継続的な努力を必要とします。Ansellは、価値連鎖における脱炭素化に向けて、より幅広い目標を持っています。弊社は、スコープ3削減イニシアチブの主要な柱となる以下の主要活動を2023営業年度に調査することを約束します。(i) 経営活動による排出量を削減するために尽力している完成品および原材料の供給業者との協調；(ii) 低炭素の輸送と流通；(iii) 使用済み製品の影響の低減；(iv) 環境に優しい原材料。



廃棄物処理と仕入品および
サービスが
80%
のスコープ3排出量を占めてい
ます(2020営業年度の基準値)

+42%
のスコープ1および2排出
量を2030年までに削減

主要業績



エネルギーと排出量

弊社は、持続的な投資を通じて、バイオマス、太陽光発電、再生可能グリッド電力の3つの分野にまたがる再生可能エネルギーイニシアチブに注力してきました。

2022営業年度に弊社は、マレーシアのグリーン電力料金プログラムを通じて、マレーシアの工場で電力の少なくとも90%を再生可能エネルギーから生産するという合意を確立しました。現在、ポルトガルとリトアニアの工場では、100%再生可能なグリッド電力が使用されています。弊社はまた、化石燃料への依存度を減らすために、スリランカとタイに5つの高圧温水発生装置(HWG)を設置しました。これまでの投資により、現在の発電量の45%を再生可能エネルギーが占めています。

今年、弊社は重大な課題に直面しました。スリランカの経済状況により、工場へのバイオマスの供給が断たれ、ボイラーの動力として加熱炉の油を使用しなければならなくなりました。スリランカでの停電により、発電機の使用が増加し、長時間にわたって発電機を使用した結果、ディーゼルの消費量も増加しました。弊社はまた、タイで古いバイオマスボイラーと新しいバイオマスボイラーを同時に使用するための作業も続けています。これにより、工場での化石燃料を動力源とするボイラーへの依存度を減らすことができます。また、COVID-19の大流行によってマレーシアで移動制限が実施された影響により、今年の太陽光発電投資の発効予定日が遅れました。

弊社は、2023営業年度から国際自然保護連合(IUCN)と共に複数年プログラムに参加して、生物多様性への影響と依存度を評価するつもりです。



水

弊社の新しい目標は、弊社の工場の状況に応じた段階的な目標で構成されています。弊社は、基準値年の総取水量、基準値の高い水分ストレスへの暴露、および国連グローバルコンパクトのCEO水命令のガイダンスを含む基準に基づいて、工場によって2025営業年度までに達成すべき目標が異なる3つの「段階」に分類しました(2020営業年度の基準値)。すべての工場は、以下を達成するために水管理活動を実施することを約束します。

- 段階1: 取水量を50%削減
- 段階2: 取水量を25%削減
- 段階3: 工場または地域社会での取水量を25%の水準まで削減します。

弊社は今年に、スリランカのシーダワにあるAnsell Textiles Lanka(ATL)に逆浸透(RO)システムを設置することに成功しました。ROに入る水の量に影響を与える工程の変更が製品に必要なため、弊社のタイ工場に設置されたROの運用に関連するさまざまな課題を解決しなければならませんでした。弊社は、ROが工場での取水量の40%を削減するように、上流工程を改善しようと努力しています。

2021営業年度の成果に基づいて、マレーシア、スリランカ、ポルトガルの工場でROシステムを導入するための評価が現在行われています。



廃棄物最小限化

経営活動のネットゼロの実現を目指した極めて重要な目標と見なされている弊社の埋立廃棄物ゼロ化は、情熱、技能、協調を通じて達成できることの基準を設けています。

弊社はこれまでの成果を誇りに思っており、現在、5R原則(廃棄、削減、再利用、他用途利用、リサイクル)、革新的な思考、従業員の野心によって支えられる廃棄物ゼロ化実現の最終段階にあります。

今年、ブラジル、タイ、中国の3つの工場が、独立した第三者機関であるIntertekから認証を受けました。各工場の埋立廃棄物転換率は99%を超え、これはIntertekの廃棄物ゼロ化認定基準を満たしています。2021営業年度には、スリランカのATLとリトアニアの工場が、目標を達成して認証を取得しました。

弊社は、2023営業年度末までにすべての拠点が認証を取得することを目標に、Intertekの廃棄物ゼロ化認定基準に照らして、独立した第三者による審査を引き続き実施していきます。



製品

国連のSDGへの貢献



Ansell初の堆肥化可能な手袋

2022営業年度に、HGBUは、再生可能な生体高分子で作られたAnsell初の堆肥化可能な手袋であるMICROFLEX® 31-103を開発しました。産業用堆肥化施設で180日以内に90%以上が生物分解されるこの製品とその包装材料は、EN 13432基準を満たし、TUVオーストリアから堆肥化可能の認証を受けました。MICROFLEX® 31-103は、他の合成高分子製の手袋に比べて環境への影響が少ない手袋で、ポルトガルにあるAnsellの施設でグリーン電力を利用して製造され、堆肥化可能なポリ袋で包装されています。この製品は、2022年9月にヨーロッパで最初に発売され、その後、北米およびアジア太平洋市場でも発売される予定です。

弊社最高の多目的手袋がグリーン製品になりました

2022営業年度に、IGBUは、リサイクル糸で作られた初の機械的リスクからの保護手袋であるHyFlex® 11-842を上市しました。この手袋の裏地の90%はリサイクルナイロンでできており、最終製品のリサイクル含有量は30%です。これは、85g CO₂e/g/双(前世代の値)の二酸化炭素排出量の削減に相当します。弊社が各地域で排出する二酸化炭素量を減らすために、手袋の着色にはスリランカの高品質茶産業の副産物である天然染料を使用しています。この手袋は、プラスチックを使用しない材料(新たにデザインされた紙バンドを使用)で包装されています。この試験的な材料は、完全にリサイクル可能であり、責任を持って調達されたFSC認証紙で作られています。この新しい紙バンドは、U字型の紙インサートやプラスチックフィルムに比べて、扱われる内装材*が53%少なくなり、温室効果ガスの排出量**が71%少なくなります。

* AnsellのLCA、軽量化として計算。

** AnsellのLCA、シナリオ分析、2021年1月。



製品と包装材料の
+90%
が180日以内に生物分解[^]

製造に用いられた電力
グリーン電力
ポルトガルにあるAnsellの
施設で製造

製造に用いられた材料
**再生可能な
生体高分子**

包装に用いられた
ポリ袋

[^] 産業用堆肥化施設で生物分解されます。EN 13432基準を満たし、TUVオーストリアから堆肥化可能の認証を受けました。



手袋の裏地の
90%
がリサイクル糸

包装に試験的に用いられる
紙バンドにより
71%
のGHG排出量**が削減

最終製品の
30%
がリサイクル含有物

着色に用いられた
天然染料
はスリランカの高品質茶産業
の副産物

** AnsellのLCA、シナリオ分析、2021年1月。

製品 続き

Ansellは、職場や自宅で顧客を安全に守る保護ソリューションを提供します。人と地球を保護する製品を提供するAnsellは、保護性能を妥協することがありません。

製品の革新と製品の管理に対して統合的アプローチを取っている弊社は、材料の選択、サプライヤーの選択、および素材科学を研究するだけでなく、工程の革新と商業的拡張も考慮しています。弊社は、製品が環境に及ぼす影響に関する理解を、顧客のアンメットニーズに関する知識および弊社の差別化要素と組み合わせ、製品の改善と新製品の開発に役立つ知見を得ています。

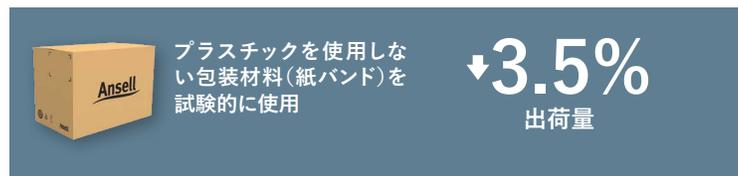
過去2年間、弊社は、認められた科学的根拠および方法論に基づいて、製品が寿命期間を通じて環境にどのような影響を及ぼすかを理解するために取り組んできました。2022営業年度に、弊社は製品ポートフォリオの環境影響基準値を決めるための大規模で詳細な研究を完了しました。原材料の組成(化石燃料など)、製造工程の光熱量、使用済み製品の廃棄方法により、各製品の環境ホットスポットは異なります。こうした研究結果により、弊社は化石燃料からバイオ燃料またはリサイクル燃料への移行に着目するようになりました。

弊社の製品管理アプローチは、国連のSDG、ISOフレイムワーク、米連邦取引委員会(環境保護市場主張の使用に関するガイド)を利用した「持続可能性を考慮した設計」の原則に基づいています。この基準は、製品のライフサイクルを考慮した新製品開発の「段階ゲート」アプローチに適用されます。このアプローチは既に効果的であることが証明されており、予測される環境への影響に基づいて推進されている概念もあります。Ansellのすべての新製品および既存製品は、REACHフレイムワークやプロポジション65など、世界で最も厳しい素材規制に引き続き準拠しています。



Ansellの検査手袋および手術用手袋の内箱と外再生箱はリサイクル可能であり、少なくとも70%の材料に再生紙が使用されています。

2022営業年度に包装材料に関連して遂げた成果



包装に関するAnsellの誓約

今年、弊社は包装に関するAnsellの誓約を最終決定しました。

すべての包材は、人と製品を保護する優れた品質を維持しながら、環境への影響を最小限に抑えるための科学的根拠に基づいて選択します。

使用段階

使用段階の選択肢

製品製造から最終利用者への配送まで、包装材料の使用を最小限に抑えます。



2026年までにプラスチックと紙の包装材料の使用を減らします。



性能と製品仕様が許す限り、すべての紙製の包装材料にリサイクル含有物を利用します。

廃棄段階

廃棄段階の選択肢

包装後の環境に配慮した廃棄を推進することで、保護、輸送、情報提供の機能を果たします。



2026年までに、包装材料の100%がリサイクル可能、再利用可能、または堆肥化可能になります。



2023年までに、製造拠点の埋立包装廃棄物の量をゼロにします。

* 産業用堆肥化施設で180日以内に90%以上が生物分解されるこの製品とその包装材料は、EN 13432基準を満たし、TUVオーストリアから堆肥化可能の認証を受けました。

電気自動車製造に携わる従事者への最先端の保護

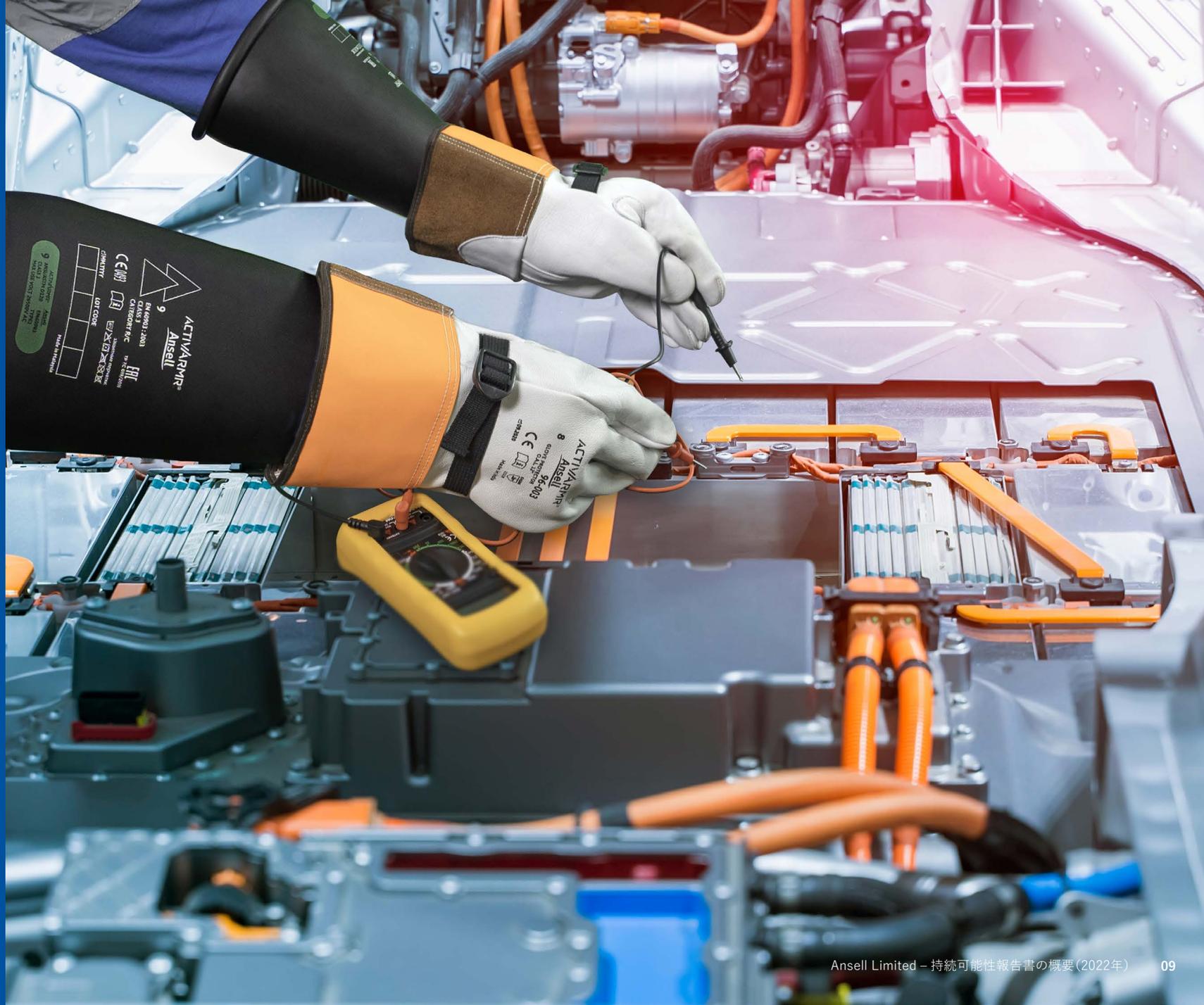
電気自動車 (EV) の世界的な販売台数は急速に伸びており、化石燃料使用の削減に対する環境を意識した消費者の関心が高まっていることがその原因の一つです。リチウムイオン電池などのエネルギー貯蔵システムを使用する電気自動車には、一連の安全上の危険性が存在するため、特定の種類のPPEを使用する必要があります。

業界をリードするEVメーカーは、自社のバッテリー製品 (50V以上の装置) で精密で細かい作業を行わなければならないという課題に直面しました。EVメーカーが使用していたPPEは指先感覚性と快適性をほとんど提供しなかったため、チームメンバーは必要な作業を行う際に困難に直面しました。

Ansellチームは、EVメーカーのニーズについての理解を深め、協力を継続し、フィット感、快適性、性能を改善した次世代の軽量電気保護具を開発しました。ActivArm[®]電気絶縁手袋は、メーカーのニーズに適合し、従業員の保護に役立っています。Ansellは、ポートフォリオ全体で幅広いソリューションを提供し、切創、摩耗、化学物質リスクを含む職場に存在する多様な危険から労働者を保護し、施設、保守、バッテリー組立などにおいて、急速に成長している自動車生産分野で労働者が安全に作業を行えるようにするために、このメーカーと提携関係を結びました。

人と地球にやさしく

Ansell Protects™



バッテリー製造における複数の危険を伴う複雑な安全性の問題を解決

絶えず発展するバッテリー技術の革新は、急速な容量拡大を実現して、EVに対する需要の増加に対応しています。これにより、複数の危険から労働者を保護しなければならないという、新しく複雑な独自の安全上の課題が生まれました。

リチウムイオン技術を専門とするヨーロッパの主要なEVバッテリーメーカーおよびメーカーは、化学物質、熱、感電から労働者を保護するために、安全性に関するニーズを徹底的に見直す必要がありました。

Ansell GUARDIAN™ のリスク評価に基づいたPPE選択方法を活用し、弊社の化学技術専門家チームから継続的支援を受けているこのEVバッテリー技術リーダーは、作業員の安全と保護を確保するために、AlphaTec®、MICROFLEX®、ActivArmr® PPE製品ソリューションを選択しました。

人と地球にやさしく

Ansell Protects™



ガバナンス

弊社の企業統治フレームワークは、誠実性、説明責任、透明性というAnsellの文化を表しています。取締役会および執行委員会は、持続可能性への弊社のアプローチを監督し、団結力のある堅牢な企業統治フレームワークに結実させています。労働者の権利に関しては、取締役会の持続可能性およびリスク委員会とCEOおよび経営陣が、労働者の権利問題に関する報告を定期的に検討します。

ビジネス全体で最も高い法的、道徳的、倫理的基準を達成するために、弊社の価値観と行動規範に従業員に教えています。



200人以上の

マネージャーに倫理的意思決定の文化を教育



4,000人以上の

生産部門従業員がグローバル行動規範の再教育コースを受講



3,000人以上の

専門職従業員が国際運輸の利益相反に関する教育を完了

持続可能性のリスクと機会に対する取締役会の監督

Ansellの取締役会

Ansellの戦略的方向性の監督など、企業の経営、管理、統治を監督および検討の責務を担います。

持続可能性およびリスク委員会 (SRC)

Ansellのリスク管理システムの設計および実装、そしてAnsellの持続可能性ポリシーおよびプログラムの有効性を検証します。

監査およびコンプライアンス委員会 (ACC)

情報開示がTCFDの勧告と完全に合致していることを確認するなど、Ansellの財務諸表を策定します。

持続可能性のリスクと機会の評価と管理における管理職の役割

CEOおよび経営陣

CEOと経営陣は、持続可能性協議会を通じて行動し、Ansellの持続可能性戦略の策定および実施全般に責任を負います。CEOと経営陣は、戦略的な持続可能性目標に対する進捗状況に関する最新情報を取締役会に定期的に提供し、取締役会の監督と承認を必要とする主要な決定について勧告を行います。

労働者権利委員会

サプライチェーンに存在している現代の奴隷制と労働者権利のリスクの管理を担当している経営陣の中核グループで構成されています。

持続可能性ワークグループ

経営陣の担当メンバー

人	最高人事責任者と業務およびグローバルサプライチェーン担当上級副社長	人事中心の持続可能性戦略の責任者として、安全衛生、多様性と受容性、労働基準管理フレームワーク、サプライヤー管理フレームワーク、コミュニティ関与に関連するプログラムを実行します。
地球	業務およびグローバルサプライチェーン担当上級副社長	環境戦略を担います。このワークグループは、弊社の脱炭素化戦略、CDPおよびTCFDの報告の責務を担います。
製品	IGBU社長とHGBU社長	新しい製品革新の提供、包材に関する誓約の履行、持続可能性を考慮して設計された製品のパイプライン開発の責務を担います。また、顧客、サプライヤー、その他の関連する利害関係者と協力して、環境への影響を減らすための循環性および廃棄ソリューションを開発する責任者です。
持続可能性に関するコミュニケーションと教育	最高商務責任者	持続可能性に関する適切な知識をAnsellの従業員に教育し、業界で利用できる持続可能なPPEソリューションを開発するために顧客と関わり合い、持続可能性に関するコミュニケーション戦略を策定します。

人と地球にやさしく
Ansell Protects™

ansell.com

対話に参加してください

